

J R 総連通信

レールウェイはヒューマンウェイ
参議院議員

田城 郁



2011年7月6日 1014

全日本鉄道労働組合総連合会(J R 総連) <http://www.jr-souren.com/>

えん罪 J R 浦和電車区事件の自判・無罪を求め

通算

106
回

最高裁要請

I T F 路面運輸部会 動議採択を報告

J R 浦和電車区事件の公正・公平な裁判を求め、J R 総連は7月6日、通算 106 回目となる最高裁要請行動をおこなった。

要請では、対応した植松訟廷首席書記官補佐に J R 総連からの『要請書』を手交。6月7～9日にスウェーデンでおこなわれた I T F (国際運輸労連) 路面運輸部会総会で J R 総連が提出・採択した労働組合権侵害を許さないなどとした動議「交通運輸労働者の労働組合権擁護」が満場一致で採択されたことを報告した。要請行動にはこのたびの総会に出席した J R バス東北本部・勝山事務長と J R バス関東本部・柳田副議長も東日本大震災での復興に取り組む福島と土浦から駆けつけた。また、参加した 11 名はそれぞれ口頭弁論の開催と無罪判決を求め、要請内容を第三小法廷の調査官や最高裁判事に伝えるよう要請した。

世界の労働組合が決議したように、日本が冤罪大国であってはならない。J R 総連は J R 浦和電車区事件の上告審開廷を求め、取り組みを進める。



要請行動に参加した J R バス東北本部・勝山事務長(左)と J R バス関東本部・柳田副議長(右)

要請行動に参加した J R 総連・出村副委員長ほかと、J R 東海労・小林書記長(上左)、J R 貨物労組・鶴木副委員長(上左から 3 人目)、J R バス東北・関東(中央下)

